

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年8月3日（月）～平成27年8月9日（日）〔第32週〕の感染症発生状況

第32週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。

手足口病の定点当たり患者報告数は9.28人と前週（11.39人）から減少しましたが、例年よりやや高いレベルで推移しています。

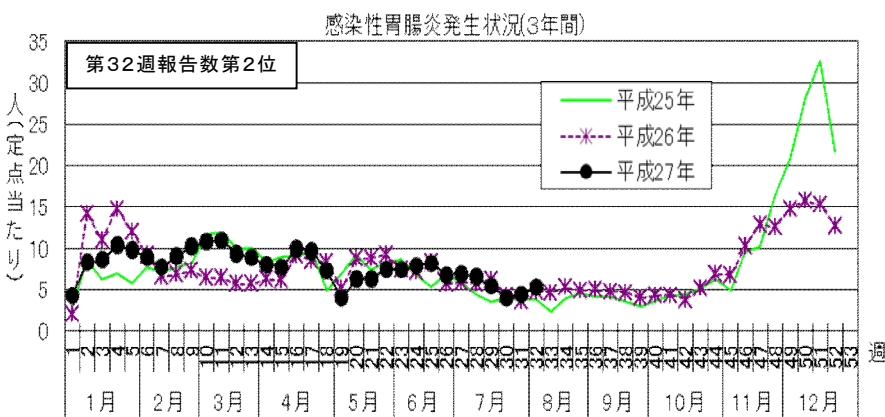
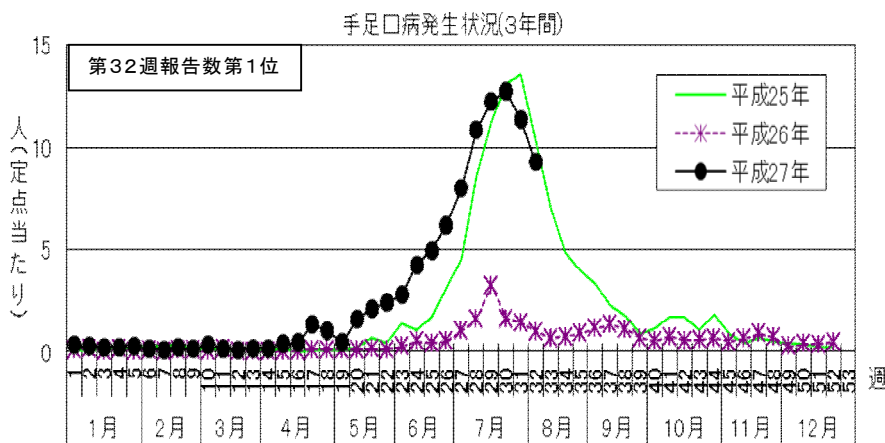
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.34人と前週（4.45人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は3.03人と前週（4.27人）から減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。



こんな症状が出たらー帰国後の健康チェックー

海外旅行から帰国した後、何らかの体調不良を訴える方は、比較的多いと言われています。中でも発熱、下痢などの胃腸症状、皮膚の異常はよくみられる症状です。海外旅行後の体調不良には、思わぬ感染症が潜んでいる可能性がありますので、早めに医療機関を受診しましょう。なお、受診にあたっては、症状だけでなく、旅行先を必ず医師に伝えてください。



旅行後の発熱

発展途上国から帰ってきた人では2~3%に発熱がみられると言われています。

特に、マラリアやデング熱の流行地域から帰国し発熱がみられた際には、必ず医療機関を受診してください。

長引く下痢

海外旅行に行った人の半数以上の方が旅行先で下痢になります。

帰国後も下痢が長引いている場合には、医療機関を受診し、適切な治療を受けることが必要です。

発疹などの皮膚の症状

皮膚の異常は、海外旅行で最も頻繁にみられる症状の一つです。

発熱も同時にみられる場合、全身の感染症を伴っていることが多いため、速やかに医療機関を受診する必要があります。